

# 心理学科の施設・設備 悠心館・実験室ガイド

京都亀岡  
キャンパス

多彩な実験に取り組み、実践に活かせる力を養います。

京都亀岡キャンパスの悠心館には、合計17の心理学に関わる実験室があります。行動観察から脳波の測定まで、多彩な実験設備を使用した学びに取り組むことができます。



## 認知心理学実験室

記憶の違いはどのような心のしくみで起こるのか。人の記憶や認知のしくみをめぐるさまざまな「不思議」を調べます。



## 行動観察室

窓の向こう側からはこちらが見えません。犯罪取調室のマジックミラーと同じ設備を使って、人々の自然な行動を観察します。

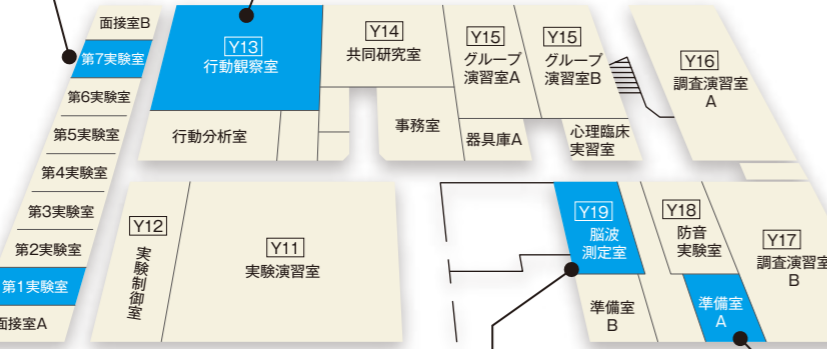


## 悠心館1F 実験施設



## アイマークレコーダー

人間の眼球運動(視点を)を計測する装置がアイマークレコーダー。視線や瞳孔はさまざまな認知の指標となります。



## ネットワーク実験室

個別に分かれたプレイヤーがパズルを解くネットゲームを通して、集団と社会の仕組みを探る社会心理学の実験を行います。



## 脳波測定室

人が何かを知覚した時、脳のどの部分がどのように変化するかを調べます。脳も鍛えられるとされる今、期待される研究です。



## 京都学園大学附属 心理教育相談室

(京都太秦キャンパス内に設置)

地域の方々への心理相談に対応します。

個人・家族・地域社会などに対する臨床心理学的援助を行う場です。幼児から中高年まで幅広い年齢層の方々から相談され、個人面接や親子並行面接、あるいはグループの子育て相談など、様々な形で心理カウンセリングが行われています。臨床心理士をめざす大学院生の教育訓練機関としても機能しています。



取得できる資格

### 認定心理士

日本心理学会が認定する資格。心理学に関する基礎的な知識とスキルを身につけていることを評価します。所定の単位を修得すると取得できます。

### 社会調査士

一般社団法人社会調査協会が認定する資格です。社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向などをとらえる調査の専門家に与えられます。

取得をめざす資格

### 臨床心理士

対人援助の専門家としての知識やスキルを持つことを認定する資格です。教育機関や医療機関、行政などの心理職に求められることが多くあります。

※本学大学院人間文化研究科は、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院です。本学大学院の臨床心理学コース(修士課程)を修了すれば、直ちに「臨床心理士」資格試験の受験資格が取得できます。詳しくは以下をご覧ください。

公益財団法人  
日本臨床心理士資格認定協会ホームページ  
<http://fjcbcp.or.jp/>

すべては学生のために。



http://www.kyotogakuen.ac.jp/  
【入試に関するお問い合わせ先】入学センター  
TEL 0771-29-2222  
E-mail nyushi@kyotogakuen.ac.jp  
〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1  
TEL 0771-22-2001(代表)

甲子園球場約5.5個分の敷地面積。  
広大な京都亀岡キャンパスで学びます。



京都	JR	約20分	亀岡	スクールバス	約9分	京都亀岡キャンパス
JR	桂川	スクールバス	約30分			
阪急	桂	スクールバス	約30分			

## 京都学園大学 ニュースレター



学生チャレンジショップ「京學堂」の宣伝を支援する実習

## 対人援助も



発達臨床実習

## 実験心理も



行動観察室での消費者心理実験

### 臨床心理学コース

カウンセリングの手法など対人援助の技術を学ぶ。

### 社会コミュニケーションコース

社会と積極的に関わり、地域や組織を支える力を養成。

### 心理学コース

多彩な実験などを通して心と行動の関係を分析。

### 心理学科の特色

- 1 臨床心理学、心理学、社会学・コミュニケーション学の分野から、心の仕組みとケアを総合的に学びます。
- 2 さまざまな実験機器を使った実験・実習や授業などで心を科学的にとらえ、客観的に理解することをめざします。
- 3 臨床心理士はもちろん、福祉・医療・健康・子どもなどの分野で心のケアに携わる対人援助職を育成します。
- 4 社会心理学や社会学などを学び、企業の問題解決や地域の活性化に貢献できる力が身につきます。
- 5 「コミュニケーション」を多角的に学び、営業職や広報職などにも役立つ実践的なスキルを養います。

総合的に学ぼう!  
社会に活かせる心理学

人文学部 **心理学科**

京都亀岡  
キャンパス

# 仕事や人間関係に活かそう 心理学科で身につける 実践スキル

心理学コース

臨床心理学コース

社会コミュニケーションコース

人の心や行動を科学的な視点から分析して理解する。心理学の「知」は、仕事にも人間関係にも、世の中のあらゆる場面で求められています。心理学を総合的に学べる本学科では修得できる力も実に多彩。対人援助から社会問題の解決、組織・地域の活性化まで、あなた自身の未来に活かしてください。

## 心理相談



山 愛美教授

専門分野は深層心理学、臨床心理学。担当科目「深層心理学」「人格心理学」「表現療法実習」など。

## 心理カウンセリング技術

人の話を聞き、考え、自分の思いを伝える力を養う。

心理臨床において、人の話をイメージしながら聞き、自分の感じることを、考えることを表現して伝えられる力は非常に重要です。それは社会のあらゆる分野で求められる力でもあります。授業では学生同士が互いに人の話を聞き、かつ自らも自分の考えを自由に発信できるような場をつくり出すようにしています。こうしたスキルをすぐに修得することは難しく、私にできるのは種をまくことだけ。10年、20年経る間に、血となり肉となって生きてくるような4年間になればと願っています。



●卒業生 INTERVIEW 学生相談室 カウンセラー

高野 元貴さん 2005年大学院人間文化研究科臨床心理学コース修了

心理臨床に限らず、学業や対人関係、経済的事情や進路のことなどで悩む学生がよりよい学生生活を送れるようにサポートしています。その人の状態やどういった支援が必要かを見極めるうえで、臨床心理の技術が日々の仕事に役立っています。

## 対人援助

## 福祉・子どものケア

子どもや親に寄り添い、ともに成長できる人へ。

事情があって家庭で暮らせない子どもたちが生活している児童福祉施設。そこで子どもたちの健やかな成長を支えるのが児童指導員です。また、子どもたちを施設に入れざるを得なかった親の苦しみに向き合い、ともに成長していくのも施設をはじめ児童福祉分野の役割です。「発達臨床実習」などの授業では、子どもや親の気持ちを想像し、いいところを見つけて伝える力の修得をめざします。心理学科を卒業した学生には、児童指導員任用資格が与えられます。



●卒業生 INTERVIEW 児童養護施設 児童指導員

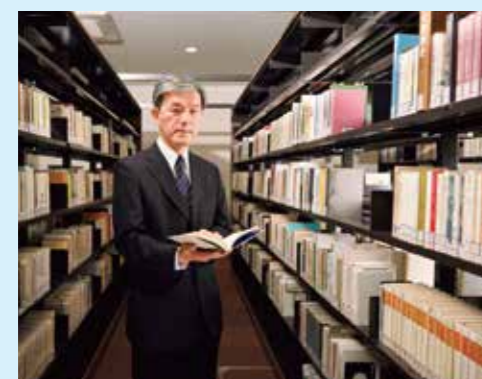
野村 舞さん 2011年心理学科卒業

児童養護施設の児童指導員として働いています。大学のゼミでは子どもや家族の臨床心理学を学びました。実際に児童養護施設に見学に行ったり児童養護施設のドキュメンタリー番組を見たり、虐待や不登校をテーマに学ぶなど、すべてが今の仕事につながっています。



川畑 隆教授

専門分野は児童福祉や教育などの分野における対人援助。担当科目「発達臨床心理学」など。



久保 克彦教授

専門分野は臨床心理学、医療心理学。担当科目「臨床心理学」「医療心理学」「医療心理実習」など。

## 医療における援助技術

病いに苦しむ患者さんを支える力の修得をめざす。

臨床心理士が活躍する医療現場は、精神科領域に限らず、心療内科、小児科、内科、外科、皮膚科等、幅広く多方面にわたっています。こうした医療領域においては、心の病いに対する臨床心理学的な知識や援助技術だけではなく、身体の病いを抱えて苦しむ患者を理解し援助していくための医療心理学的な知識や援助技術が求められています。「医療心理学」や「医療心理実習」などの授業で、医療領域で働くために必要となる心理的援助の知識やスキルを身につけてください。



●卒業生 INTERVIEW 医療法人敦賀温泉病院 臨床心理士

秦 幸江さん 2011年大学院人間文化研究科臨床心理学コース修了

病院の臨床心理士として、外来の患者さんに対する認知症の検査、また心理検査やカウンセリングを担当しています。京都学園大学の先生方に学んだ「仕事に向き合う姿勢」を大切に、臨床心理士として学び続け成長したいと思っています。



有馬 淑子教授

専門分野は社会心理学。担当科目「社会心理学」「集団心理学」「心理学専門演習」など。

## 集団・組織心理学

対人関係や集団心理の知識を仕事に活かそう。

「社会心理学」では対人関係から集団心理、ネットワークの科学までを学びます。英語を学びたい方には文献と一緒に読みます。また、「統計分析の基礎」や「心理統計学」では統計とITスキルを養うことが可能です。これらの力を活かせる分野としては、人事やマーケティングなどの領域が考えられますが、特に限定はされず幅広いステージで活躍することができるでしょう。無意識に出る表情や行動を学べば営業職に、また、消費者心理を学べば販売に役立てることもできます。



●卒業生 INTERVIEW 株式会社鼓月

村井 俊太さん 2013年心理学科卒業

京菓子の製造販売を行う株式会社鼓月に勤務し、接客や外回り業務を担当しています。ゼミでは商品の購買などの意思決定について知識を深めたいと思い、行動心理学を学びました。そこで得た知識や経験は今の仕事にも大いに役立っています。

## コミュニケーション

仕事の基礎となる能力を地域や社会の現場などで養う。

コミュニケーションとは伝え合い、共有すること。立場や価値観を異にする人たちが集う社会で生きてゆく力の基本であり、仕事の基礎能力として多くの職場がこの力を最も重視します。学科では心理カウンセリングや発達心理学、対人援助、社会心理学、社会学、メディア関連科目などでコミュニケーションへの理解や運用スキルを学びます。学生が学外に出かけ、市民や消費者の声を調査したり、地域や商品の魅力を域内外に発信する手助けを行う授業も。こうした力を社会の現場で活かせるスキルを養います。



●進路イメージ

商品の魅力を伝える広告業界・企業の宣伝部門 / 読者・視聴者に記事・番組を配信するメディア業界 / 対話と発信を通じてまちづくりを行う行政の広報・観光・地域振興部門 など



君塚 洋一教授

専門分野はメディア論、表現文化論、広告広報論。担当科目「情報環境論」「表現文化論」など。

## 心の健康ケア

日常に潜むストレスに対処できる力を身につける。

こころの健康は、目に見えないさまざまな情報処理の歪み(例えば友人のポジティブともネガティブともとれる発言をネガティブなものとして理解してしまうなど)が積み重なって崩れてしまうことがあります。このようなこころの問題を理解するためには、ひとのこころを目に見えるかたちで表現し、それを客観的に理解するスキルが必要となります。学科では「心理学基礎」での心理学研究の解説や実験の経験をはじめ、さまざまな講義・演習を通してこれらのスキルの獲得を助けます。



●進路イメージ

福祉・子どもなどの対人援助職 / 一般企業・行政の人事・人材開発部門 など

## 社会調査

あらゆる業界が求める「調査力」を修得。

社会調査とは、調査票(アンケート用紙)を配って人々の意見を聞いたり、現地に行って人々が何をしているかを観察したり、聞き取りをしたりすることで、社会状況を調査するものです。学科では、一般社団法人・社会調査協会が指定する科目を履修して「社会調査士」資格を取得することができます。実際に社会調査を仕事にしている卒業生もいますが、スキルを身につける過程で、データの中から必要な情報を見つけ出したり、ものごとを論理的に考えたりする能力も身につけられます。



●卒業生 INTERVIEW NPO法人テダス 社会調査士

田畑 昇悟さん 2008年人間関係学科卒業

市民活動やボランティア活動を支援し、「行政と市民」や「企業と市民」をつないで協働を推進するための中間支援組織「NPO法人テダス」で働いています。仕事で相談業務を行っている時など、社会心理学で学んだ知識が役立っています。



岡本 裕介教授

専門分野はコミュニケーション社会学。担当科目「社会調査法」「コミュニケーション社会学」など。

## 対人基礎力

## 対人援助・人事・人材開発

## データ処理